



創業の思い

『農産報国』

昭和初期の日本は、慢性的な食糧不足と、
それに追い打ちをかけるような凶作が続き、極めて厳しい状況にありました。

当時、複数の肥料会社や製油会社などを経営していた伊藤英夫は、
一大農産加工会社をつくる構想を抱き、昭和産業を設立しました。

その根底にあったのは、「食を通じて日本を豊かにしたい。
そのためには農業の繁栄が必要だ。」という強い思いです。

「先を見据え、挑戦と創造の精神で事を成す」という

不屈の精神で昭和産業の基盤をつくり、
当時の日本の食糧難の改善に大きく貢献しました。



「『食』を通じて日本を豊かにしたい」
という思いは、今へ、そしてこれからも。

